

奄美市立節田小学校 ～節田マンカイ傳承活動の取組～



奄美市笠利町節田地区の伝統行事で旧正月の唄掛け遊びである。「まんかい」とは「手踊り」のこときと考えられる。または、手の振りからして「手招き」の意味もあるようなので「手招き踊り」とも言える。八月踊りが秋の野外における集団舞踊だとすれば、節田マンカイは、冬の室内における集団舞踊と言えらる。新年を迎えて一同に集まり、唄や三味線が始まり、やがては舞い踊り出す自然の情を組織化したのが節田マンカイ（正月まんかい）である。1930年頃までは、奄美各地で見られたが、現在は節田集落にだけ残されている。

学校と地域が連携協力しながら節田マンカイを継承していくために、学校の職員2人を係として位置づけ、ビデオの視聴や活動の様子を撮影したり、保存会の方々と連絡・調整して練習にきていただいている。また、朝の活動に節田タイムという時間を15分間設定し、いろいろな伝統芸能の練習をして、継承に努めている。